

ガソリン高騰止まらず

県内平均小売価格177円

県内でガソリン価格の高騰が続いている。経済産業省が十二日発表したガソリンスタンド（GS）におけるレギュラーガソリン一リットル当たりの県内平均小売価格（十日時点）は百七十七円三十銭と前週より四十銭高となり、百八十四円台に一步近づいた。止まらない価格の急騰について、専門家は政府の補助金削減の影響を指摘している。

（金崎千花、松田士郎）

政府はガソリン価格抑制策として石油元売り会社に補助金を支給しているが、六月一日以降、二週間ごとに段階的に補助率を縮小している。九月末で補助は終了する予定。

調査した石油情報センターの担当者は「元売りへの補助金削減で卸売価格が上昇し、消費者の負担が増している。補助率が下がるので値上がりは続く」と指摘。六月五日にはレギュラ

が継続している。

調査した石油情報センターの担当者は「元売りへの補助金削減で卸売価格が上昇し、消費者の負担が増している。補助率が下がるので値上がりは続く」と指摘。「原油価格はロシアに



ガソリン価格を表示する電光掲示板＝福井市内のガソリンスタンドで

補助金減や円安 影響

よるウクライナ侵攻前に戻っている。ガソリンの高価格の基調には円安の進行がある」と分析する。

「六月以降、九月にかけて毎月、約三円ずつの値上げを予定していたが、円安の影響もあり大幅な値上げになってしまった」と話すのは、県内でGS直営十一店舗を展開する柴月（福井市）の担当者。

同社のガソリン販売価格は、福井市御幸三丁目店舗で十二日現在、レギュラーが一リットル百七十六円、ハイオクが一リットル百八十八円で、いずれも六月一日より五円高となった。今後は九月にかけて、一リットル当たり六円ほどゆるやかに値上げする予定だ。利用者に対しては、低燃費タイヤや燃費向上グッズの使用、各店舗ごとのお得な支払い方法の利用を呼びかけている。

同店で給油していた市内の会社員男性（匿名）は「生活に車は必須。出費が増えて、旅行に行く際も行き先を考えるようになった。店舗のアプリなどを利用して少しでも安く利用したい」と話していた。